

令和6年6月市議会 環境経済委員会資料

第71号議案 財産の無償貸付けについて

目次	ページ
1 市有財産の無償貸付けについて	2～4
2 位置図	5
3 平面図	6
4 写真	7～9
参 考	
長崎大学「ながさきBLUEエコノミー」について	10

水産農林部
令和6年6月

1 市有財産の無償貸付けについて

(1) 貸付けの背景及び目的

旧高砂園は、平成元年4月に開設され、高島地区の養護老人ホームとして利用されてきたが、令和4年12月に行政財産としての用途を廃止し、現在、普通財産となっている。

その後、令和6年2月に、長崎大学から「ながさきBLUEエコノミー」高島水産研究所を水産海洋研究教育の拠点として活用し、その一環として研究教育機能の充実を図るため、旧高砂園を研修・教育施設及び宿泊施設として無償で借用したい旨の要望があったもの。

(2) 貸し付ける財産

ア 土地

所在	地目	面積 (㎡)
長崎市高島町字東尾浜2706番33	宅地	2,752.68
長崎市高島町字東尾浜2706番34		416.72

イ 建物

所在	構造	面積 (㎡)	備考
長崎市高島町字東尾浜2706番地 33、34	鉄筋コンクリート造2階建	1階 727.38、2階 724.01	養護老人ホーム
	鉄筋コンクリート造	53.30	機械室
	鉄筋コンクリート造	7.16	浄化槽用機械室

ウ その他

土地又は建物に附属する設備及び工作物並びに備品一式

(3) 施設の概要

開設年：平成元年4月（経過年数35年）

厨房1、食堂1、集会室1、男湯1、女湯1、事務室1、洗濯室1、1F居室 14、2F居室 28、ほか

(4) 適正な価格で貸し付ける場合の貸付料

年額約 9,100千円（長崎市普通財産貸付料算定基準に基づく算定）

(5) 貸付けの相手方

長崎市文教町1番14号

国立大学法人長崎大学 学長 永安 武

(6) 活用内容

- ・「ながさきBLUEエコノミー」に関わる研究者・学生・生産者等の研修・宿泊
- ・一般企業、小中学生等に対する水産海洋研修
- ・高島水産研究所の分室研究室の設置

(7) 貸付期間

契約日から令和15年3月31日まで

（共創の場形成支援プログラム「ながさきBLUEエコノミー」のプロジェクトと連動した活動のウェイトが大きいため、終了年度をプロジェクトの期間に合わせている）

(8) 主な貸し付ける条件

- ア 施設の利用目的は、水産科学に関する教育、研究に資する内容とする。
- イ 契約物件に係る建物保険料及び光熱水費等の維持管理に係る費用は、長崎大学の負担とする。
- ウ 契約物件に係る修繕、改修、その他施設にかかる費用はすべて長崎大学の負担とする。

(9) 無償で貸し付ける理由

長崎大学は、科学技術振興機構「共創の場形成支援プログラム」の採択を受け、令和5年度から10年の計画で「ながさきBLUEエコノミー」のプロジェクトを実施している。その一環として、プロジェクトの重要なテーマを担う高島水産研究所を中心に、学生、社会人などの水産人材育成に向けた研究教育機能の充実を図るため、研修・教育施設及び宿泊施設として旧高砂園を活用しようとするものである。また、本プロジェクトのみならず、高島というロケーションを活かして水産に関するフィールド学習の場として、子供たちや企業等、県内外からの来訪者を受け入れることも計画されている。

以上のとおり、長崎大学による旧高砂園の活用内容は公共性が認められるとともに、水産科学教育の充実、人材の育成・輩出が期待され、本市の水産業の振興に資するものであり、また交流人口の拡大等により高島地区の活性化にもつながり、本市施策の方向性と合致している。

また、無償貸付にすることで、国庫納付金の返還が免除となること、有償貸付の場合に生じる施設修繕義務等も発生しないことなど、財政的に有利な面もあることから、旧高砂園について無償で貸し付けようとするもの。

(10) 活用スケジュール(予定)

年 月	内 容
令和6年8月	大学による地元への説明
令和6年9月～	施設の改修
令和6年11月頃	一部宿泊施設稼働

2 位置図



3 平面図



4 写真



建物外観正面



裏口側



機械室



旧浄化槽



スプリンクラー水槽



中庭



玄関



事務室



男性浴室



女性浴室



食堂



調理室



集会室



洗濯室



来客トイレ



給湯室



101号室



201号室

【参考】長崎大学「ながさきBLUEエコノミー」について

1「ながさきBLUEエコノミー」構成機関

- (1)代表機関:長崎大学
- (2)幹事自治体:長崎県
- (3)幹事機関:協和機電工業株式会社
- (4)参画機関:長崎市ほか約45社・団体

2「ながさきBLUEエコノミー」の事業内容

- (1)ビジョン 養殖DXの推進により、若者が集まり活気づく海と生きる地域社会の実現
(科学技術振興機構の「共創の場形成支援プログラム」の採択を受け、令和5年度から10年間のプロジェクト)
事業費 2億円/年度

